# 城南家保ニュース R3. 6 月号

熊本県城南家畜保健衛生所
〒868-0056　人吉市寺町 12-1
（新庁舎移転後：人吉市蟹作町 1237-1）
TEL：0966-22-3814
EMAIL:jounankaho@pref.kumamoto.lg.jp

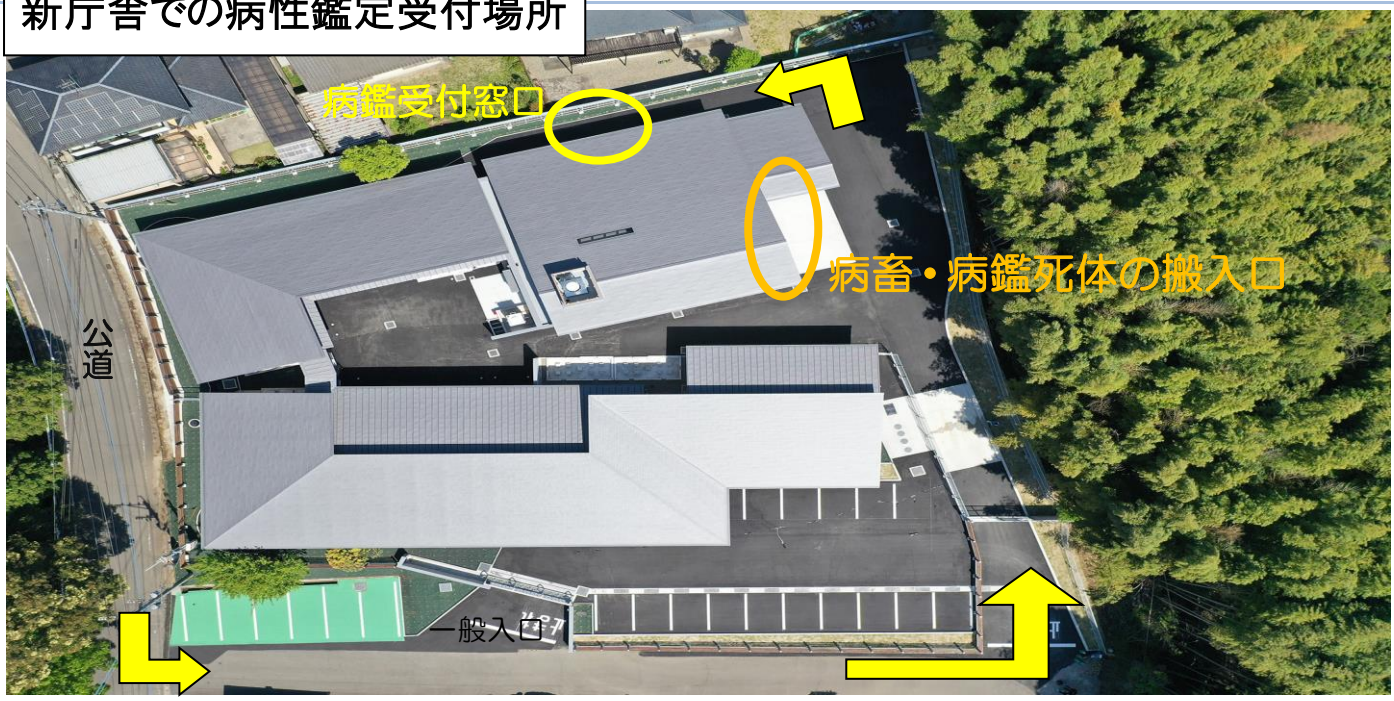
## 6/21～　城南家保新庁舎がOPEN！

令和元年７月末に旧人吉保健所に仮移動して早２年、蟹作町の本庁舎が完成しました。

病性鑑定時など、農家の皆様や診療獣医師の先生方には長らくご不便をおかけしました。**引越は6/18(金)～6/20(日)**で行い、**6/21(月)からは新庁舎で通常業務**となる予定です。住所は現在の寺町 12-1 から人吉市蟹作町 1237-1 となり、電話番号・FAX 番号に変更はありません。

なお、バイオセキュリティ強化及び交差汚染防止のため事務棟と防疫棟にゾーニングしており、病性鑑定受付窓口がこれまでと異なりますのでご注意ください。

### 新庁舎での病性鑑定受付場所



## スタートから強い子牛をつくろう！適切な処置で、新生仔疾患を予防。

### ①へその消毒は早ければ早いほどよい。細菌の侵入が早いか、消毒が早いか。牛床乾燥は基本。

臍の消毒は、湿った臍帯から侵入した細菌が、臍の奥内部に侵入する前に消毒できるかが勝負です。またスプレーよりも、消毒液に深く浸漬することをお勧めします。

『臍帯炎』は進行すると、細菌が肝臓を経由して血行性に四肢の関節に流れ着き、**多発性関節炎**を引き起こすことは有名です。しかし、外側からは臍も縮小して治癒したように見える場合でも、腹腔内で膿瘍(細菌や膿の塊)を形成していることが多く、その場合は目に見えない**腹膜炎**や**肝膿瘍**など、爆弾を抱えたまま成長することになり、他の疾患などで免疫が弱った頃に一気に悪化します。何事も無いように見えても、発育が悪い牛が多いと感じたら、元々は臍が原因かもしれません。

臍の浸漬消毒には、乳牛農家が使うディッピングカップが便利です。

消毒は毎回きちんとしているのに、よく臍帯炎が発生する…といった場合は、牛床が湿っており、臍の乾燥を遅らせているかもしれません。分娩房の乾燥は、消毒以前の基本的条件です。また、お産介助の際の無理な牽引は臍帯が短く切れることがあるため、感染しやすくなります。いま一度、確認してみてください。

*深部膿瘍：細菌感染の際、生体の防御反応として免疫細胞が細菌巣を取り囲み、結合組織で包み込む。中の細菌は死んでいる場合もあれば、生体免疫の攻撃を受けながら増殖する機会をうかがっている場合もあります。目に見える部位に膿瘍が形成された場合（腫れる等）は、切開による膿出しや抗生剤投与などで対処できますが、腹腔内や肝臓内にできると診断はつきにくく、薬剤も届きにくくなります。免疫が正常なうちは常に異物として攻撃しており、攻撃に費やすエネルギーを消耗するため、発育は思わしくありません。また、免疫低下や物理的な刺激で膿瘍が割れ、血行性に全身に広がる場合もあります（菌血症）。

### ②初乳給与の時期は適切か？早すぎるのは禁物。必ず『吸乳反射』を確認してから。

臍の消毒と違って、早ければ早いほど良いという訳ではありません。

産まれてきた仔牛は、初めて呼吸するわけですから、まず呼吸に慣れようとします。胎水を飲んでしまっている場合などは、この時間が長引きます。呼吸に慣れない内に、良かれと思って人工初乳を無理やり飲ませると、『誤嚥性肺炎』を引き起こし易くなります。肺炎は治療で治癒しても、一度死んでしまった肺は再生することなく、不健全な肺のまま少ない酸素量で、これから訪れるウイルスや細菌性肺炎を乗り越えていかなければなりません。

**①物理的な初乳吸収の流れ**

まず呼吸に慣れる
↓　(出生時は皆低酸素血症)
起立：臓器への圧迫が減り、臓器間に隙間ができる
↓　(呼吸もしやすくなる)
胎水が胃から腸に流れる
↓
空腹
↓
吸乳反射(口に指を入れると吸う)

**②機能的な初乳吸収の流れ**

ミルクは通常、第４胃で豆腐様に凝固（『カード』形成）してから、ゆっくり胃酸により消化され、腸で吸収されます。胃の中に胎水が残っていると…胃の残存胎水と混ざるとカード形成は起こりません。つまりどんなに早く初乳を与えても、タイミングによっては効率よく移行抗体を吸収できないのです。(次ページ写真)

初乳の給与適期は生後６時間以内であれば、吸収率・移行抗体量に差はないとされており、正常な子牛の場合、分娩後２時間以内に起立し哺乳欲を示します。何らかの理由で起立出来ない場合でも、吸入反射があれば、座位のまま初乳を与えてもかまいません。

(左写真)　『誤嚥性肺炎』は、哺乳瓶の**乳首の穴の大きさに**よっても起こり易くなります。乳首の穴が小さいと哺乳時間がかかりますが、決して、逆さにした時にミルクが垂れるほどの穴は開けないでください。常時垂れ流しの乳首の場合、飲んでいる途中の呼吸のタイミングで、ミルクが気管に入ります。（開閉弁がついた哺乳瓶の場合は、必ず閉めて哺乳し、哺乳瓶が陰圧になったら一時的に開けて、空気を入れるようにして下さい。）

### ③お母さんのケアも忘れずに。分娩してくれたら餌の増し飼いはもういらないのか？

分娩のエネルギー消費はすさまじいものです。母牛は自分の体力回復もしつつ、仔牛にミルクを与えなければいけません。分娩後のエネルギーが足りないと、母牛は自分の体脂肪を削って(分解して)ミルクに脂肪(長鎖脂肪酸)を送り込みますが、仔牛はこの長鎖脂肪酸を分解吸収できません(餌から供給される短鎖・中鎖脂肪酸は吸収できます)。そのため、母牛が必要としているエネルギーが足りてないと乳質が悪くなり、仔牛は下痢(脂肪の多い『母乳性白痢』)をします。母体の回復+仔牛へのミルク中の充分な栄養価を充足させるためには、分娩後の餌の減量は避けましょう。早期の疲労回復(栄養供給)は子宮回復を早め、次回の正常発情にも繋がります。

「元気な仔牛を産んでくれてありがとう」の気持ちを込めて、分娩前の増し餌分を最低でも分娩後２週間は続けましょう。

## 近隣諸国の海外悪性感染症

| 病名 | 型 | 発生地（国） | 畜種 | 発生年月日 |
|---|---|---|---|---|
| 高病原性<br>鳥インフルエンザ<br>（HPAI） | H5N2 | 台湾(２件) | 地鶏 | 令和３年５月５日～５月１１日 |
| | H5N5 | 台湾(２件) | 地鶏・肉用鶏 | 令和３年５月９日～５月１７日 |
| | H5N8 | ロシア | 家きん | 令和３年５月４日 |
| アフリカ豚熱<br>（ＡＳＦ） | | 中国 | 豚 | 令和3年3月３０日 |
| | | ロシア(３３件) | 豚・野生イノシシ | 令和3年４月２３日～５月１９日 |
| | | マレーシア | 豚 | 令和3年4月9日 |

令和3年(2021年)5月31日現在